

成倫勉強会報告 2011.7.8



講師／小林 智氏



日 時／ 2011年7月8日(金) 14:00～15:30
会 場／ NHK 青山荘 (東京都港区)
講 師／ 小林 智氏 (株)アイキャスト 取締役副社長
演 題／ 「スマートテレビによる映像サービスの最新動向」
出席者／ 61名

スマートテレビ (Smart TV) は、パソコンのインターネット機能とテレビとが融合した新しい方向性のテレビとして、パソコンと携帯電話が融合したスマートフォンに次ぐ大きなメディア動向が注目されています。しかし、実際にスマートテレビとは、どのような機能を持ち、私たちの生活にどのように入り込んで行くのか、まだ不明なところも多くあります。

そこで今回の勉強会は、『ひかりTV』放送サービスの放送事業者で協賛会員である株式会社アイキャストの小林智氏を講師に、スマートテレビとは何か、先行して進んでいる欧米の最新情勢、今後の市場動向等について講演いただき、スマートテレビについての理解を深めました。

－講演内容－

1.日本のネット関連動向

■インターネットの普及状況

- ☆ 過去1年間にインターネットを利用したことがある人は推計で9,408万人と、前年に比べ317万人の増加、人口普及率は78.0%
- ☆ 個人がインターネットを利用する際に使用する端末（「パソコン」「モバイル端末（携帯電話・PHS等）」「ゲーム機・TV等」）は、それぞれ前年に比べて利用者数が増加しているが、特に「ゲーム機・TV等」が739万人（対前年比30.3%増）と大幅に拡大、利用端末が多様化。

■ブロードバンドの市場動向

◇ ブロードバンドは「光」の時代へ。

◇ 総務省の「日本のICTインフラに関する国際比較評価レポート（2009年8月）」によれば、日本は総合評価で24か国・地域中第1位。2位以下との差を大幅に拡大。

■ブロードバンド速度の国際比較

■ブロードバンド料金の国際比較

■テレビのネット接続状況

◇ 地デジ化によるデジタルテレビの普及、家庭内無線LANの普及により、日本でも既に約770万世帯がテレビをネットに接続

■スマートフォン・タブレット型端末の普及

◇ スマートフォン、タブレット端末などの新たなデバイス普及に合わせて、TV以外のデバイスに向けたサービスによる既存ユーザーの囲い込みが進められている。

■動画の作り手の増大 ～ U s t r e a m、ニコニコ生放送（PC向け動画配信）

◇ ユーザーが投稿した動画に加えて、これまで有料放送で放送されていたような映像も流され始めている。

■日本のVOD市場予測

◇ 視聴環境の普及が、VOD市場の拡大を牽引

■メディア接触の変化

◇ 放送メディアからパソコン/ケータイへシフト

2. Smart TVとは何か？

■Smart TVの定義？

◇ 「Smart TV」については、企業・団体・学者等で様々に定義されており、「IPTV」や「ConnectedTV」等との差異も曖昧で、ほぼ同義とされることも多い。

■CDNとインターネット

■CDNでのIPマルチキャスト放送

■日本のIPTV標準化動向

■IPTVサービスの市場動向

3. Smart TVの海外動向

■海外における映像サービスのトレンド

■海外の「Smart TV」

◇ 放送事業者、通信事業者、コンテンツ・ネット事業者など、広い業界の事業者が主導して、Smart TVへ参入し、既存業界の垣根を越えた競合が進展している状況。

■有料放送市場の国際比較（世帯普及率）

◇ 海外におけるCATV、衛星放送、IPTV等の有料放送市場は拡大しており、今後もその傾向は続くと推測される。一方、日本においても、主にIPTVを中心とした有料放送市場の拡大が見込まれる。

4. 「ひかりTV」の取り組み

■ひかりTVサービスとは？

■コンテンツラインナップ

■地上波テレビ局のVOD提供状

- ひかりTVチューナー機能対応テレビ／AVパソコンの推進
- ジャパネットたかた様との放送連動型「ひかりTVショッピング」の協業
- 「ひかりTV」電子ガイド誌
- リモート録画予約機能
- マルチスクリーンサービス（予定）
- イベント開催とコンテンツ展開
- ダビング／マルチルーム機能の提供
- 3D対応コンテンツ制作実績（2010年度）
- PC向け：Twitterプロモーションコンテンツ「レコメッター」

以上